

令和8年 2月 5日

保護者の皆様

日向市立塩見小学校
校長 橋口 正範

令和7年度 第2回学校評価（後期）アンケート結果と今後の対策について

今年1月に実施いたしました「第2回学校評価アンケート」の集計結果がまとまりましたので、その概要と、結果を踏まえた本校の今後の取組についてご報告いたします。いただいた貴重なご意見は、教職員一同で共有し、大切なお子様の成長のために活かしてまいります。

1. アンケート結果の概要

今回のアンケートでは、「学校生活の楽しさ」において非常に高い評価をいただいた一方で、「読書習慣」や「安全・規律」において、学校と家庭が連携して取り組むべき課題が明確になりました。

□ 成果：子どもたちの笑顔があふれる学校です

児童・保護者ともに、「学校は楽しい」「学校生活を楽しんでいる」という項目で、非常に高い肯定的な回答（「あてはまる」「まあまああてはまる」の合計）をいただきました。

- **児童：**ほとんどの児童が「楽しい」と回答しており、授業で「わかった！」という喜びを感じている様子もうかがえます。
- **保護者：**「毎日喜んで登校している」「先生方が温かい」といった記述も多数いただき、安心・安全な居場所としての学校機能が果たせていると考えられます。
- **地域（学校運営協議会）：**学校通信を通じた情報発信や、子どもの登下校の様子等について、「子どもたちの様子がよく分かる」「挨拶をしてくれる子が増えた」と評価していただきました。

□ 課題：読書離れとメディア利用

三者（児童・保護者・教職員）共通で最も数値が低かったのが「読書」です。

- **現状：**学年が上がるにつれ、「進んで読書をする」という回答が減少傾向にあります。
- **背景：**保護者アンケートの記述欄にて、「スマホを見る時間が増えた」「ゲームに夢中」といったお悩みの声が見られました。デジタル機器の利用時間増加が、読書時間の減少や生活習慣の乱れに影響している可能性が考えられます。

□ 【重要課題】 規律とマナー（認識のズレ）

児童自身は「マナーを守れている（思いやりがある）」と高く自己評価していますが、大人（教職員・地域）からは厳しい視線が向けられています。

- **教職員：**記述回答において「廊下を走る児童が多い」「階段の歩き方が危険」「言葉遣いが荒い」という指摘があります。
- **地域：**「横断歩道を渡った後、止まってくれた車に頭を下げるなどのマナーが欠けている」「マナーが悪すぎる」という厳しいご意見がありました。
- **分析：**子どもたちが「できているつもり」になっている部分に対し、安全面から大人が基準を示し直す必要があります。

2. 記述回答から見る「皆様の声」

保護者・教職員から寄せられた主なご意見（抜粋・要約）です。

- **（保護者）**「毎日学校に行って、先生や友達と遊ぶことを喜んでおり、感謝しています。」
- **（保護者）**「帰宅後、学校の愚痴が多い時がある。」「スマホ・メディアへの依存が心配。」
- **（地域）**「横断歩道の渡り方で、止まってくれた車への会釈など感謝の態度が見られない。学校で指導してほしい。」
- **（地域）**「戦後80年を過ぎ、語り部が減っている。地域の方による平和教育の場を設けてはどうか。」
- **（地域）**「教室だけでなく、体験を通じた教育を取り入れてほしい。」
- **（教職員）**「廊下歩行や階段の昇降で危険な場面がある。落ち着いた行動を徹底させたい。」
- **（教職員）**「メディア依存の影響か、学習への集中力が続かない場面がある。」

3. 結果を受けた今後の対策（アクションプラン）

アンケート結果を受け、学校として以下の3点を重点的に取り組んでまいります。

① 【安全・規律】 「感謝」と「命」を守る行動の徹底

地域の方からご指摘いただいた「横断歩道でのマナー」は、単なる礼儀ではなく、ドライバーと心を通わせて自分の命を守る行動です。

- **取組：**登校班会や全校集会にて、地域からの声を子どもたちに直接伝え、「止まってくれた車へのお礼（会釈）」や「廊下歩行」の意味を再指導します。

② 【知育】「読みたくなる」仕掛けづくり

読書不足の解消に向け、単に「読みなさい」と言うだけでなく、校時程を工夫し、読む時間の確保や本を手に取りたくなる環境を整えます。

- **取組:** 水曜日のような朝の時間を1週間に2回に増やします。また、読み聞かせボランティアの皆様との連携強化、図書委員会による「おすすめ本」紹介イベント、タブレット端末を活用した調べ学習とデジタル読書などを引き続き進めます。

③ 【家庭連携】「メディアコントロールデー」の推奨

生活習慣と学習意欲は密接に関わっています。

- **お願い:** ご家庭でも、今一度「スマホ・ゲームのルール（時間や場所）」についてお子様と話し合う機会を持っていただけないでしょうか。学校からも、お便り等でメディアコントロールに関する情報を発信してまいります。

最後に 本校の教育目標の達成には、学校と家庭、そして地域の皆様との連携が不可欠です。今回のアンケートで明らかになった「強み」を伸ばし、「課題」には真摯に向き合っておりまます。今後とも、本校教育活動への温かいご支援とご協力を賜りまますようお願い申し上げます。

本評価の分析結果を、Google の NotebookLM という AI を活用して作成した動画でもご確認ください。

動画は、右の QR コードからご視聴ください。

【ご注意ください】

この動画は AI による自動音声読み上げのため、一部の専門用語や固有名詞の読み方に間違いがあります。分析結果の内容自体は正確なデータに基づいておりますので、その点をご了承の上、ご視聴ください。



令和7年度 第2回学校評価アンケート結果と今後の取組

令和7年度後期のアンケート結果に基づき、学校の現状を整理しました。
「学校の楽しさ」が成果として表れる一方、「読書不足」や「マナーへの認識のズレ」が課題となっています。
これらを解決するための3つの重点施策を提示します。

今後の重点アクションプラン

アンケートから見た現状(成果と課題)

学校生活への満足度は 非常に高い

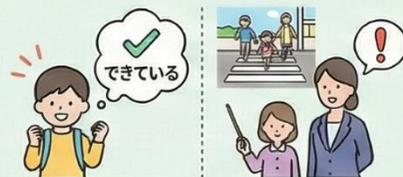


学校生活への満足度は
児童・保護者ともに「学校は楽しい」という
肯定的な回答が多数寄せられました。

学年が上がるほど 「読書習慣」が減少



マナーに対する「認識のズレ」



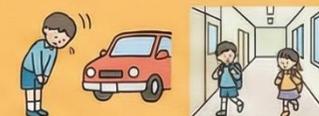
登下校や廊下歩行に厳しい指摘
子どもは「できている」と感じる一方、大人から
は登下校や廊下歩行に厳しい指摘があります。

「読みたくなる」 環境と時間の確保



読書時間の拡充や読み聞かせ
ボランティアとの連携、委員
会活動の取組、デジ
タル読書

「感謝」と「命」を守る マナーの再徹底



止まってくれた車への会釈や、
廊下歩行の意味を全校で
指導し直します。



家庭での

メディアコントロールデー推奨



学習意欲向上のため、家庭内での
スマホ・ゲームのルール作りを
お願いします。